

緑農住のまちでこんな豊かなくらしができます!

緑農住のまちは、住む人や働く人の「うれしい」を生み出す可能性を秘めています。住む人も、農業関係者も、まちで働く様々な事業者も、身近な緑や農地という空間と、そこからもたらされる価値・機能をいかして、新しい東京のくらし・しごとをつくってみませんか?



それぞれの「うれしさ」が生まれます



- 緑の中に誰もが楽しめる居場所がある
- 緑の中で新たなサービス展開ができる



公園で読書

出典: 八王子市HP 「あるけるまちへの取り組み」
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/003/003/p025800.html>

- 里山の資源をつかって様々な体験ができる
- 里山空間・資源をいかしたビジネス展開ができる



里山で竹刈り体験

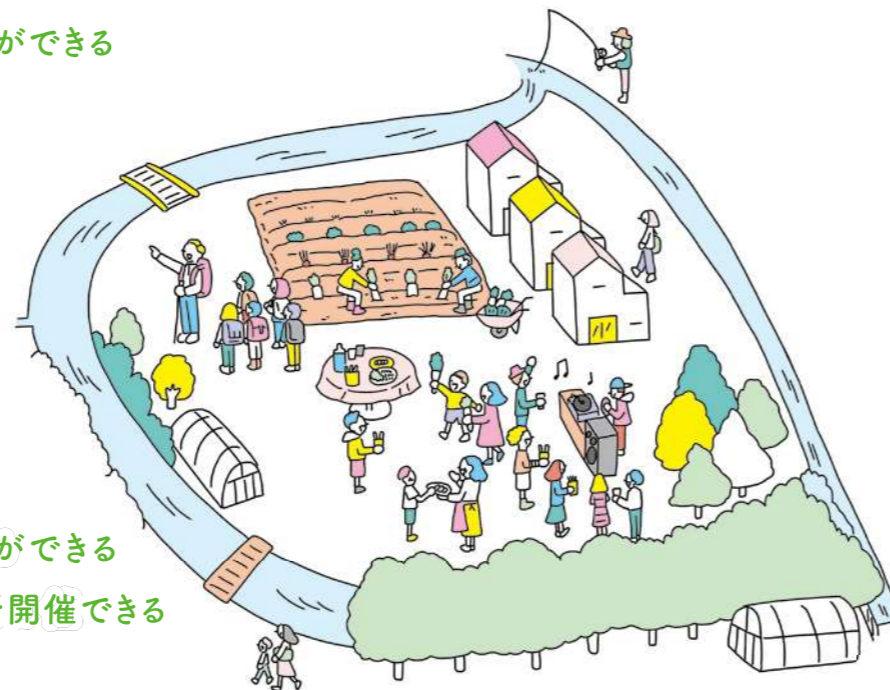
出典: 東京都環境局「里山へGO! 活動レポート」
<https://www.tokyo-satoyama.metro.tokyo.lg.jp/report/detail?cid=839>



ビニールハウスで音楽フェス

出典: 練馬白石農園(大泉 風のがっこう) ブログ
<https://shiraishifarm.blog.ss-blog.jp/2008-01-20-4>

- 身近な緑や農地で様々な遊び・学びができる
- 地域の緑や農地でイベントや教室等を開催できる



遊ぶ・学ぶ

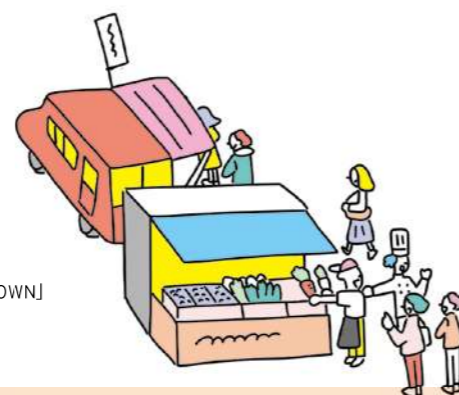
- 自然の中で仕事や勉強ができる
- 様々な業種の参入で緑と農に新たな魅力を生み出す



農産物の直売所

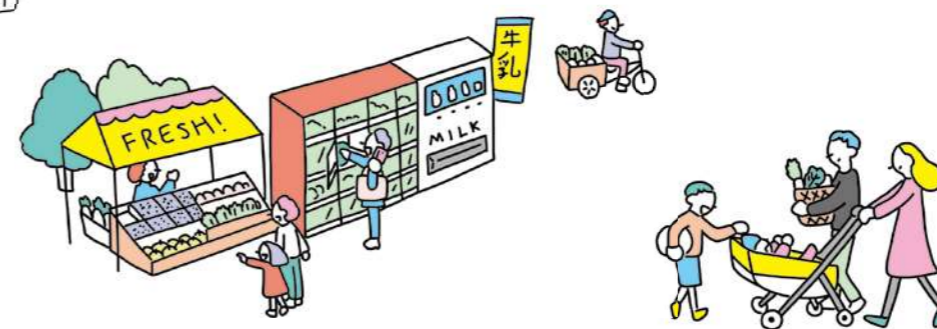
出典: 公益財団法人東京都農林水産振興財団「とうきょうの恵み TOKYO GROWN」
<https://tokyogrown.jp/learning/agriculture/gap/detail?id=966911>

- 近所で穫れた新鮮な農産物が買える
- 農産物の美味しさや農業者自身を知ってもらえる



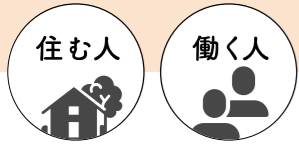
買う

- 農業者と話しながら安心・安全な農産物が買える
- 地域住民・農業者・他業種と交流ができる



マルシェで農業者と交流

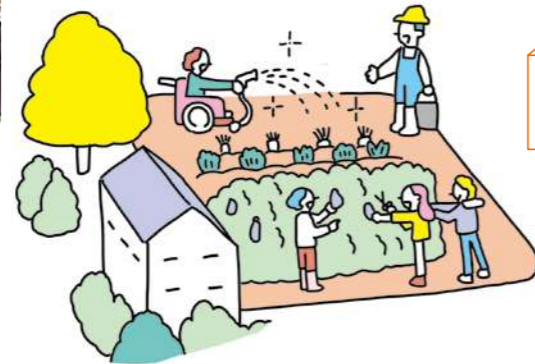
出典: 練馬区HP
 「区内の農業者等が開催するマルシェ」
<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/nogyo/nerimarushe.html>



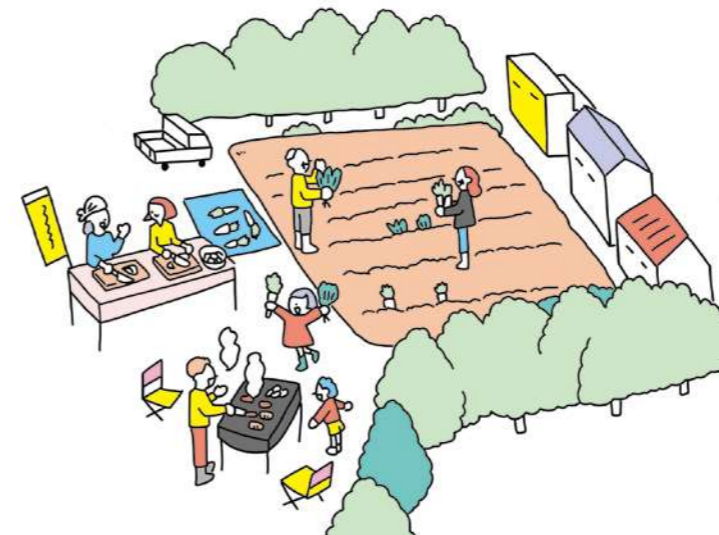
農業者による農業講習

出典：東京都産業労働局HP
「市民農園・農業体験農園のご案内」
<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/nougyou/hozen/taiken/>

- 農作業をしながらリフレッシュできる
- 農地・農業のおもしろさを伝えられる



育てる・味わう



観光農園で採れたてフルーツを味わう

出典：東京都産業労働局
「農業・農地を活かしたまちづくりガイドライン」

- 東京の農業・食を味わえる
- 食べる体験を通じて農業への入り口ができる



集う



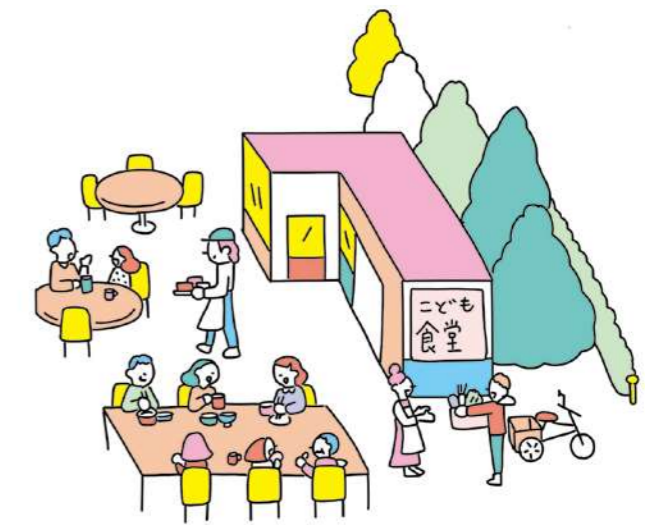
林の中でヨガ

写真提供：西東京の公園・西武パートナーズ
(撮影：NPO birth)



地域の農産物を子ども食堂へ無償提供

出典：板橋区HP「「農」を身近に感じられるまち」
<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/kusei/promotion/senryaku/1028212.html>



- 農や食を通じた居場所づくりに貢献できる
- 農や食を通じた地域福祉への貢献ができる

- 人と出会える、過ごせる
- 住民の交流の場や健康づくりの場を提供できる

地域社会を守る



一時避難場所になる防災協力農地

出典：武蔵村山市HP「防災協力農地」
<https://www.city.musashimurayama.lg.jp/kurashi/bousai/saigai/1008308.html>



農地で防災訓練

出典：練馬区HP「南大泉加藤農園 緑と農の体験塾 加藤義松氏講演資料」
https://www.city.nerima.tokyo.jp/kankomoyoshi/nogyo/summit/sengen/sammittosoukatu/files/02_06_kato_nagashima_murayama.pdf

- いざという時に避難できる場所がある
- 一時避難場所や防災訓練の提供を通じて地域の安全を守る



緑地でボランティア

出典：東京都環境局「里山へGO!活動レポート」
<https://www.tokyo-satoyama.metro.tokyo.lg.jp/report/detail?page=4&cld=739>

- 地域の緑を守りながら景観や文化を継承できる
- 緑を守る取組に協力して地域社会に貢献できる

緑農住まちづくりの こんな取組がすでに始まっています!

「遊ぶ・学ぶ」ライフスタイルの例

農園を核とした地域の遊び場・学び場づくり

「くにたちはたけんぼ」

東京都国立市にある、「くにたちはたけんぼ」は、農園を使って、住民の交流・遊び・学びの場を提供し、くにたち流の農ライフを提供している取組です。

週末には、都心や遠方からも多数参加者のいる「都市農地をいかした食育・農的体験」、「農泊等の体験型観光サービス」の提供、日曜・平日の子育て支援として、「乳幼児の子どもを持つ家庭向けの子育て事業」、「学校帰りの小学生向けの放課後クラブ活動」、「様々な理由で学校に行っていない小学生向けのフリースペース活動」等を実施しています。

Point

住む人ができること

農園を使って農業を学んだり、放課後の子どもの居場所と学びの場所が得られる

土地所有者ができること

土地を地域住民の活動の場所に有効活用できる

企業や団体ができること

農地を使って、地域住民にサービスを提供できる

親子田んぼ体験の様子



出典：NPO法人くにたち農園の会「くにたちはたけんぼ」 <https://hatakenbo.org/>

放課後クラブ「ニコニコ」



詳しくはこちら>



「買う」・「味わう」ライフスタイルの例

地域の食と農を楽しむ

こくベジプロジェクト

東京は、江戸時代から続く農地がたくさん残っています。

今も農地がたくさん残る東京都国分寺市では、JA、商工会、観光協会、市役所のほか、農業者、飲食店、NPO等が協力して地産地消の取組を進めており、国分寺の農畜産物「こくベジ」をPRしています。生産する人・料理する人・食べる人がみんなで地域の農業を応援できるプロジェクトです。

Point

住む人ができること

地域の美味しい農畜産物を、様々な場所で買える・味わえる

土地所有者ができること

住民に農業や農地の大切さを知ってもらえる、ファンができる

企業や団体ができること

地産地消のメニューの提供ができる・「こくベジ」ブランドを付加価値にした商品を販売できる

「こくベジ」に参加する人たち



左 出典：こくベジプロジェクト推進委員会「こくベジ」 <https://kokuvege.jp/>
右 写真提供：清水農園

「こくベジ」は直売所でも買える!



詳しくはこちら>



「育てる・味わう」ライフスタイルの例

東京で農業が体験できる!学べる!

農業体験農園・市民農園

東京都内には、プロの農業者による指導の下、種まきや収穫等の様々な農作業を体験できる「農業体験農園」が130農園、地域の農地を借りて自分で菜園活動を楽しめる「市民農園」が422農園あります(令和3(2022)年3月末現在)。

農業体験農園は、全国に先駆けて練馬区が開始しました。お店で買う物と変わらない、美味しい野菜が作れるのが魅力です!

Point

住む人ができること

都会に住みながら、農業を楽しめる、学べる農業を通じて地域の仲間ができる

土地所有者ができること

耕作しきれない農地を貸して収益にできる農業への関心を持つ人を増やすことができる

企業や団体ができること

農業指導のサービス提供や、企業の顧客サービスとしての農園提供等のビジネスができる

農業体験農園
(練馬区)の
様子



体験農園収穫祭で交流
(大泉風のがっこう)



作業を楽しむ親子
(加藤農園)

左 出典:練馬 白石農園(大泉風のがっこう) <https://shiraishifarm.blog.ss-blog.jp/2014-06-19>
右 出典:緑と農の体験塾 facebook <https://www.facebook.com/midori.nou/>

詳しくはこちら>



「買う」ライフスタイルの例

東京の農畜産物を買って、東京の地産地消を楽しもう!

東京でも地産地消はできるんです!家の近所や遊びに行く場所にある直売所や販売店を探して、東京の農畜産物を手に取ってみてください。

<JAの直売所を検索!> JA東京中央会 都内JA直売所マップ
<https://www.tokyo-ja.or.jp/farm/store/>
<販売店や道の駅を検索!> 公益財団法人東京都農林水産振興財団 TOKYOGROWN
販売店検索ページ <https://tokyogrown.jp/shops/>

詳しくはこちら>

<JA東京中央会><TOKYOGROWN>



「集う」ライフスタイルの例

空き地を地域の「おにわ」として活用

カシニワ制度

千葉県柏市では、市民と行政が協力して、宅地化されずに残っている土地や荒れた樹林地を住民が自由に使える「おにわ」にしています。

都会で自由に使える空き地が減る中で、住民や企業が自由な発想で使えるオープンスペースが増えることで、遊ぶ場所・学ぶ場所がどんどん増えています。

Point

住む人ができること

身近な屋外空間で、様々な活動ができる

土地所有者ができること

管理しきれない土地の有効活用ができる

企業や団体ができること

活動する土地を借りることができ、様々な事業の展開場所として活用できる

詳しくはこちら>



「地域社会を守る」ライフスタイルの例

農地と食料生産の機能を活用した地域の交流・防災強化

練馬区 緑と農の体験塾

練馬区の南大泉三・四丁目農の風景育成地区(P16参照)内にある農業体験農園では、体験農園を通じてつくられた農業者・住民のつながりをいかして、そこで穫れた野菜を使いながら、炊き出し訓練を行っています。防災への備えができるほか、人が集まる場所になることでコミュニティが活性化しています。農地という空間と農業という食料生産機能をいかした事例です。

Point

住む人ができること

地域の人、農業者と交流できる防災への備え、一時避難拠点ができる

土地所有者ができること

住民との接点が増える、地域に貢献できる、農への理解が得られる

詳しくはこちら>

